

石狩川振興財団が札幌開発建設部から委託を受けて行った事業について紹介します。
札幌開発建設部では調査船「弁天丸」を活用して、「石狩川流域の水害や治水事業の歴史」、「流域の風土」、「地域の水文化」、「周辺の河川環境」などの学習活動を通じて、環境保全や防災に対する意識を高めていただくための支援活動を行っています。

平成29年度 石狩川下流河川総合学習支援業務
調査船等を活用した学習支援活動 第11回



- ◇平成29年9月12日（火） 10:50～11:30
- ◇参加者 石狩市立石狩小学校 5年生
児童 12名 教諭 3名

【学習コース】 弁天丸茨戸川下流コース（茨戸川艇庫船着き場→志美運河→石狩河口橋付近 往復）

【学習行程】

時刻	学習内容
10:50～10:55	集合・挨拶・伝達事項等
10:55～11:25	弁天丸乗船
11:25～11:30	集合・挨拶・伝達事項等

【学習内容】

- ◇弁天丸
 - 船上から川や鳥、植物などの自然を観察
 - カードを使って川の近郊にある施設探しとその役割を学習

【参加者からのアンケート】

- ◇弁天丸で行った茨戸川や千歳川で、あなたが発見したものは何ですか
アオサギ、トビ、カモメなどの鳥
ギンブナ、ワカサギ、ウグイ、コイ
志美運河水門、定置網、護岸
- ◇体験学習に参加して、もっと知りたいと思ったことは何ですか
魚と鳥の種類
鳥の鳴き声
運転席についている機械や、どのようなときに弁天丸が川に出ているか知りたい

◇茨戸川や千歳川に次に来たとき、やってみたいと思うことは何ですか

つり

川の深さやどんな大きさの魚がいるか見てみたい

鳥や植物を写真にとってみたい

【実施状況写真】



あいにくの雨・・・



古い地図と見比べてみよう



デッキから観察してみよう



サギを発見



大きな橋が見えてきました



調査船弁天丸について